

特集

町政あんない

情報コーナー

まなびすと

キラリ健康ナビ

わいわいプラザ



山料理

山仲間にもてる料理を作る極意は？日帰り登山のランチやテント場のティナー、自宅で仕込む手作り行動食まで、早くて簡単でおいしいレシピ53を紹介しします。

小雀陣仁 著 (山と溪谷社)



カンパニー

バレエ団出向を命じられた製薬会社社員と引退危機のダンサー。各々が再起を賭ける公演は難問山積で、直面する壁と闘う大人たちのプレイクスルー小説。

伊吹有喜 著 (新潮社)



航空機産業と日本

これからの日本にとって航空機産業は成長戦略の要である。「日本には大きな旅客機を作る能力がない」「航空機は輸入した方がよい」といった航空機産業への誤解や先入観を正し、具体的な展望を提示する。

中村洋明 著 (中央公論新社)



児童書

(幼児向け)

なつです。朝日のまぶしさを目をさましたそらまめくんは、「今日はすごいものをつくるよ！」とおおはりきりです。見返りに「はらっぱあそび」等あり。

なかやみわこ 著 (小学館)

豊山俳句クラブ

青山克己 選

天空の名も無き城や花がすみ

小塚美枝

戦争を語る父の目黄砂降る

坪井径子

花桃を無色の風が染めあげし

青山とも子

透き通る空を見上げる葱坊主

水野真弓

「寛容」は白紫陽の花ことば

谷崎 琴

春の雨墨絵のごとき山の里

平手英信

豊山歌壇

水野笑子 選

寒き季の苦手な者に春曆衣は厚くも足元軽く

安藤定岳

ひとときの寒のなれば花咲かぬ

一柳千鶴子

さくららは南国に遅れ咲くとふ

井上とよほ

幼友は男女を問はず気のおけぬ

木村和子

幼日の遠くなる程近づけり

見えがくれする友のおもかげ

簪の軋む音に明け暮れ夏兆す 岡島 齋

花以後の太き柱の黒びかり 高木須磨子

ためらつて跳ぶ川幅や鯉のぼり 田村多喜子

トンネルを抜け新緑の風甘し 坪井昭子

景境超えて沸き立つ新樹かな 杉浦みどり

葱坊主はじけ大人になつてゆく 石黒貴代子

懐に風をはらみて臍かな 青山克己

育てこし芝桜の紅地に低く 小出寿枝

ほころび初むる街角あたりに 佐藤良子

坂道をイベントマップ手に持ちて 柴田満枝

生涯を農事に生きし祖父母らに 感謝し残るあぜ道歩む 鈴木久子

公園の四季の味はひ確実に 芽吹く桜は冬から春へ 鈴木弘香

何となく四季の感動変わりきて 老いしあかしが枯葉の音も 中澤良子

行程の要所の箇所を白板の 筆記に助けらる難聴われら

編集後記

人間は、「塩なしには生きられない。アメリカの南北戦争では南軍に、ナポレオンのモスクワ侵攻ではフランス軍に十分な塩の補給がなかった。いづれも戦いに敗れた理由の一つとして語られる。給料を意味する英語「サラリー」はラテン語の塩に由来しており、実際に古代ローマ軍の兵士には給料として塩が与えられていたそうだし、そんな塩の重要性に鑑みて、わが国では塩事業法という法律を定めて安定供給を図っている。その第一条では、塩を「国民生活に不可欠な代替性のない物資である」と規定する。「欠かせない」という意味の言葉を重複して使用するの、条文の定め方としては異例である。それほど重要性を強調しているのだ。▼同じような条文を有する法律が、ほかに一つだけある。「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」である。消防団は、人体にとつての塩と同じように、地域には欠かせない存在だと謳う。▼特集でお知らせしたように、本町消防団は八月の愛知県消防操法大会出場に向けて、日夜厳しい訓練を重ねている。塩の結晶は正六面体である。六人の出場団員が調和し、日ごろの努力の結晶を美しく完成させてほしい。